

# 岐阜県博物館マイミュージアムギャラリーについて II

熊崎 康文

## “My Museum Gallery” of Gifu Prefectural Museum, II

Yasufumi KUMAZAKI

### 1. はじめに

これまでの博物館は、博物館学芸員が独自に調査研究、資料収集を行い、それに基づいて設定したねらいで展示活動を行ってきた。こうした従来の博物館展示に加え、近年の社会の多様化、成熟化に伴ったより魅力ある博物館を目指し、岐阜県博物館では「県民参加型の新しい博物館」「高度情報技術を活用した博物館」とするために、平成7年「マイ・ミュージアム」が建設された。

一方、生涯学習時代となり、県民が個人的に、あるいは同好者と共に調査、収集、研究した資料のコレクションや生涯学習の成果や作品には、様々な種類、内容がある。その中には希少価値の高い資料から、人生をより楽しく豊かにする生涯学習の作品まで、わたしたちの好奇心を喚起し、新たに取り組みたくなるようなものが多数存在している。そんな県民独自のコレクションや生涯学習の発表の場として、「マイ・ミュージアム」の中に、県民参加の「私の博物館」として『マイミュージアムギャ

ラリー』が開設された。ここは、県民の主体的な収集、所蔵品の公開展示及び生涯学習の場とすると共に、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行う等多目的な活用を図ることを目的とする施設である。博物館は場の提供と側面支援を行う立場に立ち、県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって承認された展示計画に従い、一定期間、公開展示を行っている。

平成7年度より始まった展示は、今年度末までに通算70回を数え、県下各地の岐阜県にゆかりのある方々の得難いコレクションや魅力あふれる作品の展示が行われてきた。平成11年度に開設当初からのマイミュージアムギャラリーについて報告したが、その後の新たな展示やマイミュージアムギャラリーの運営について見直された点などをふまえて、平成12年度から今年度末までのマイミュージアムギャラリーの展示についてその概要を報告する。

### 2 平成12年度から平成15年度までの展示内容

年	通算回数	回	展 示 内 容	出 展 者	住 所
12	39	1	漆喰彫刻「家紋の美」〈関ヶ原合戦の武将たち〉	石田 正雪	高富町
	40	2	文庫の世界〈文庫で見る日本の近・現代史〉	中島 泉	真正町
	41	3	小森松溪展〈美並村の生んだ日本画家〉	美並村文化協会 美並村文化財保護協会	美並村
	42	4	映画の中の岐阜県〈映画ポスターコレクション〉	金田 行雄	高山市
	43	5	いにしへの韓国陶磁器文化の魅力	藤田 皖護	岐阜市
	44	6	パンフラワーの楽しみ〈粘土でつくる花の魅力〉	薔薇工房(41名) 代表 木村喜美恵	岐阜市 他
	45	7	楽しい世界の資料紹介展〈アジア編〉	海外日本人学校派遣 岐阜県教師の会(13名)	岐阜市 柳津町 他
	46	8	テラコッタの魅力〈ぬくもりある土の造形美〉	加知 厚 児山由美子	土岐市 土岐市
13	47	1	銀鱗の魚皮拓展〈清流の美術品〉	高木 宜雄	金山町

	48	2	織部の詩・水彩の詩〈陶芸と水彩画の作品展〉	岡田 孝司 岡田 春海 小原 克朗	関市 関市 多治見市
	49	3	絵と音のファンタジー 〈パイプオルガン・歌の絵本〉	内間 寅男 安藤佐久子	可児市 御嵩町
	50	4	石ころたちの動物園 〈ストーンペインティングの世界〉	阿部いづみ	金山町
	51	5	地歌舞伎の魅力〈芝居絵と写真の競演〉	原田 宙 田島 一男	山岡町 岐阜市
	52	6	関・春日神社の宝物	金幣社 春日神社	関市
	53	7	楽しい世界の資料紹介展 〈中近東・アフリカ・海外日本人編〉	海外日本人学校派遣 岐阜県教師の会(9名)	各務原市 他
	54	8	パッチワークキルト展	マザーエム・キルターズ(32名) 嶋 道子	岐阜市
14	55	1	美濃刀の粋・飛騨一刀彫の妙	加納 友道 加地 宣一 田口 慶昭	中津川市 付知町 付知町
	56	2	二人展〈切手とコイン・欧州の写真〉	山田 良司 小川日出男	岐阜市 関市
	57	3	野球に生きて 〈ある軟式野球審判員5578試合の記録〉	岡部 幸子	高富町
	58	4	折り紙の魅力〈紙の織りなす夢の世界〉	岐阜折紙会(19名) 五十川 武	池田町
	59	5	万国博覧会の華〈里帰りした七宝の美〉	近代日本美術工芸研究会 (19名)	岐阜市 関市 他
	60	6	創作人形の世界〈語りかける人形たち〉	永井 鎮子(他10名)	可児市
	61	7	楽しい世界の資料紹介展 〈ヨーロッパ・北アメリカ・オセアニア編〉	海外日本人学校派遣 岐阜県教師の会(10名)	美濃加茂市 他
	62	8	リメイクの美〈地球に優しいリサイクル トールペイントクラフトの魅力〉	梶浦七央美	高富町
15	63	1	魅惑の手工芸展〈デコパージュ・エッグアート〉	彩(26名) 代表 遠藤 節子	関市 他
	64	2	野鳥を描いて〈濃飛の野鳥ペン画展〉	広瀬 尚孝	岐阜市
	65	3	美濃源氏土岐一族の世界〈土岐氏の歴史と文化〉	美濃源氏フォーラム 運営幹事・井澤康樹	瑞浪市
	66	4	ウッドバーニングアートの楽しみ	堀江 均・岐阜市立陽南 中学校美術部(20名)	岐阜市
	67	5	楽しい世界の資料紹介展	海外日本人学校派遣 岐阜県教師の会(10名)	八幡町 他
	68	6	花嫁衣装とちぎり絵の美	小澤 清俊	関市
	69	7	和風に魅せられて〈伝統的和風の復元を試みて〉	村瀬 光芳	神戸町
	70	8	粘土で創る花の魅力 〈ようこそパンフラワーの世界へ〉	薔薇工房(54名) 代表 木村喜美恵	岐阜市

(1) 出展者について

平成12年度から平成15年度までの出展者は個人28名14団体・グループであり、平成11年度までは個人73名5団体・グループであった。おもに生涯学習作品の団体出展が増えている。<sup>\*1</sup>

出展者の所在は、以下の図表の通りであるが、12年度以降はすべて岐阜県内の在住者となっている。

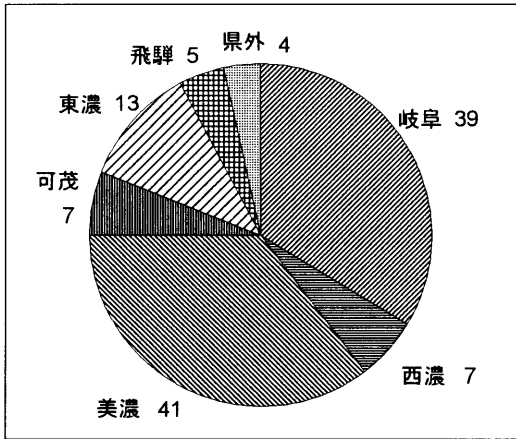


図1 マイミュージアムギャラリー出展者 出展者の所在 (平成7年度～平成15年度)

出展者の県内5県域ごとの在住地域はこのような割合で、その内訳は下表である。

市町村	7-11	12-15	市町村	7-11	12-15
岐阜市	12	11	八幡町	5	1
羽島市	4	0	白鳥町	1	0
各務原市	2	1	高鷺村	2	0
岐南町	1	0	美並村	0	1
笠松町	1	0	美濃加茂市	1	1
穂積町	2	0	可児市	1	2
高富町	0	3	白川町	1	0
真正町	0	1	御嵩町	0	1
柳津町	0	1	多治見市	1	1
大垣市	1	0	土岐市	2	2
神戸町	1	1	瑞浪市	0	1
輪之内町	1	0	山岡町	0	1
谷汲村	1	0	恵那市	2	0
大野町	1	0	中津川市	0	1
池田町	0	1	付知町	0	2
関市	22	7	高山市	1	1
美濃市	1	0	神岡町	1	0
武芸川町	1	0	萩原町	0	1
金山町	0	1	県外	4	0
			合計	73	43

岐阜県博物館の所在場所である関市や、隣接する岐阜市が多い。この2市を中心とした周辺市町村からの展示が目立つが、団体などは代表者の住所で見ているため、その内訳を見れば、さらに多くの地域から出展していただいていると言える。今後も広報を盛んにし、全県的に広まる努力をすべきである。

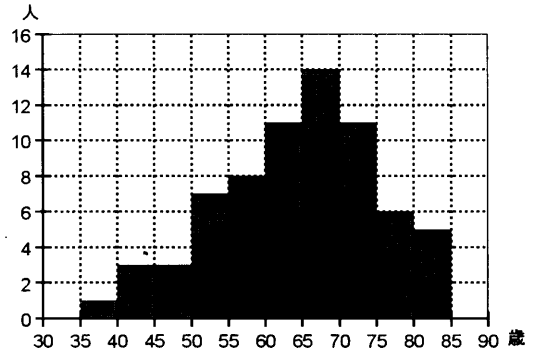


図2 マイミュージアムギャラリー出展者 出展時の年齢 (平成7年度～平成11年度)

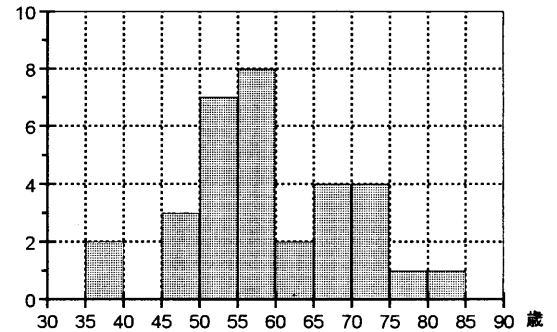


図3 マイミュージアムギャラリー出展者 出展時の年齢 (平成12年度～平成15年度)

出展者の出展時の年齢構成は図2 (平成7年～平成11年分) 図3 (平成12年～平成15年分) のようになっている。平成11年度までの出展者の平均は64歳、最高齢は84歳、最年少は36歳だった。その後では、平均は58歳、最高齢は80歳、最年少は36歳だった。

多くの出展者がコレクションや作品に取り組み始めるのが30代から40代で、その量や質が充実してきたころに出展されるケースが多い。また定年後に取り組み始めた方も多かった。

どの方も、そのコレクションや作品への造詣が深く、それらを通してかなり勉強され、研究された成果としての展示となっている。

女性の出展者は平成11年度までは3名と少なかったが、その後は9名と増えている。次頁図4のように、作品の出展が増えてきており、その出展者の多くが女性であることが大きな理由と考えられる。むしろ、サークル活動の成果として作品を出展された団体の人数を加えると、女性の方が多くなっている。

## (2) コレクション、作品について

平成12年度以降のコレクションや作品の内容は、前ページまでの展示一覧の通りである。11年度までは書画や骨董の類が多かったが、作品の出展も増えたことからその内容は多岐にわたっており、13年度第1回の「魚皮拓」は、これまでに無いジャンルで出展者オリジナルの作品で珍しいものであった。いずれにしても、様々な来館者に楽しんでいただける内容となっていた。

生涯学習の成果作品の展示が増え、多くの県民の多様な作品の発表の場となることは、生涯学習時代にマイミュージアムギャラリーが大きな役割を担うものと考えられる。しかし、同時に、マイミュージアムギャラリーのもう一つの大きな役割として、県民の貴重なコレクションの発掘と展示の場となることを今後も大切にしていきたいと考える。

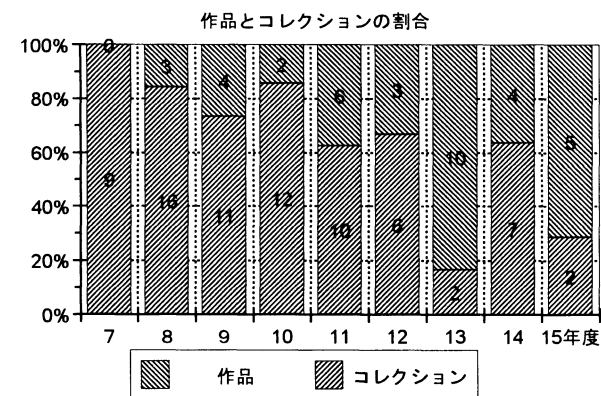


図4 マイミュージアムギャラリーの出展内容  
作品とコレクションの割合

での利用を制限しているため、各種の確認をしている。これまで、その趣旨をよく理解していただき、展示を実施している。

## (3) 展示計画

申し込み者の資料、作品の内容や申込者の所在地（一地域に偏らないように）等のバランスをとって次年度の年間展示計画、予算計画を作成し、本館展示とのバランスをとりながら、マイミュージアムギャラリー企画運営委員会（後述）に諮ってきた。

## (4) 次年度出展者の連絡会議

マイミュージアムギャラリー企画運営委員会の決定に基づき、次年度出展予定者に連絡を取り連絡会議をもった。この場で展示計画、展示期間、展示の概要について説明を行い、展示タイトル等については来館者への広報も考え、出展者と博物館とで協議しながら決定していった。

## (5) ポスター、チラシ等の制作

出展者が決定したタイトルと、各回の代表的出展物の写真を掲載した来年度のポスター、チラシ等を1回目の出展の1ヶ月前までを目処に制作してきた。このポスターは、各資料や作品の写真の見栄えに差が出ないように、また、より多くの県民に認知されるよう、デザイナーに委託してきた。

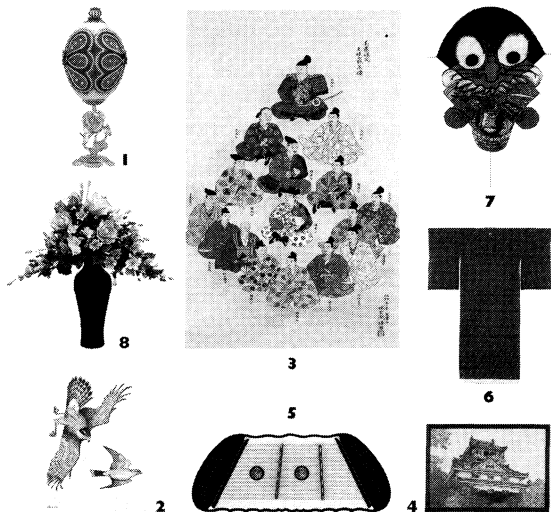
## 3 募集から展示までの流れ

### (1) 募集

展示案内チラシの裏面が申込用紙になっており、入館者等が何時でも記入して申し込みができるようになっている。また、毎回発行している展示リーフレット「マイ・コレクション」等に募集要項を記載し広報している。来館や電話等での問い合わせが多く、申し込み書を送付して受け付けている。最近その問い合わせが増えてきており、ギャラリーの存在が認知されてきていると思われる。

### (2) 申込者の資料調査

申し込みを受け付けると、館内決済後、その資料や作品の数量、形態、状態等を調査するために、後日申込者のコレクションや作品の所蔵場所に赴いた。展示数量が少なく出展者自らが持参されて、その内容が把握できる場合はその限りではなかった。調査の際、マイミュージアムギャラリー運営要領\*2において氏名公開や営利目的



- 1 平成15年4月2日～ 5月5日 出展者 彩代 渡邊 藤子 龍胆の手工芸品「宇コバージュ」エッグアート  
2 平成15年5月11日～ 6月15日 出展者 広瀬 勇 彫刻をテーマに「鳥の羽根」をテーマ  
3 平成15年6月22日～ 7月27日 出展者 東 豊 彫刻「鳥」のテーマ、土師の器と土師の器  
4 平成15年8月3日～ 9月15日 出展者 堀江 均 関西中学校美術部、ワールド・アート・の楽しみ  
5 平成15年9月2日～ 11月9日 出展者 海外日本人学校 道徳 藤野 啓 美しい世界の青い絵画  
6 平成15年11月16日～ 12月3日 出展者 小澤 隆 花嫁衣装と着物絵画  
7 平成16年1月4日～ 2月8日 出展者 村瀬 光男 和服に魅かれて「伝統的和服の魅力を試みて」  
8 平成16年2月15日～ 3月2日 出展者 藤原 匠 木村 義典 絵巻で遊ぶ花の魅力 ようこそインフラワーの世界へ！

**(6) 展示広報資料の作製**

個々の展示3ヶ月前までに、県の広報媒体（放送、広報誌等）や地域の情報媒体、出展者の市町村に広報するため、出展者に紹介文（収集や制作のきっかけやこれまでの経緯、コレクションへの思い、およその出展数などについて）と代表的な出展物の写真を提出していただいた。これをもとに、担当者が教育普及係と連絡をとり、広報媒体に資料を提供してきた。

特に、展示5～7日前に県政記者クラブ等へ記者資料配付を行った。内容によっては、県内に限らず東海地方を対象にした広報誌やテレビ、ラジオなどからも引き合いがあった。

**(7) 出展者との展示についての打ち合わせ**

該当出展者が展示を行う2回前の展示期間中に来館していただき、具体的な展示について検討を行ってきた。出展者が複数の場合、展示の内容や数量をもとに展示場所を協議、決定していただいた。この時、展示に当たって博物館側が用意できる展示補助備品等について説明してきた。

**(8) 展示リーフレットの作製**

展示40日前までに展示リーフレット「マイ・コレクション」A4版4ページ（内4ページ目は博物館で次回の案内や募集要項を掲載）の原稿と写真を出展者に提供していただき、博物館側で作製、編集、印刷（業者委託）を行ってきた。これまで、展示通算回数に相当する70号を発行してきた。

**(9) 展示キャプション・掲示等の作製**

キャプションは原則として出展者に用意していただいた。事前（1ヶ月前）に原稿を提出された場合博物館で作製を手伝った。展示案内掲示や挨拶掲示（挨拶文面は出展者が起草）は博物館で作製してきた。

**(10) 資料搬入展示作業**

原則として出展者自らに搬入していただいた。但し資料が多数であったり、壊れ物や文化財に相当したりする物の場合、博物館で美専車等を利用して搬入してきた。展示作業も出展者が自らのねらいで自ら行い、博物館は助言や補助をしてきた。

**(11) 展示期間中**

展示期間中、出展者は可能な限り来館し、入館者への対応を行っていただいた。博物館職員は適宜巡視し、チラシやリーフレット等の補充や出展者不在の場合の入館者対応をしてきた。

出展者には、展示資料に関わっての展示解説や実演公開、教室、講座、講演等を企画していただき、可能な限り実施してきた（詳細は後述）。

**(12) 展示終了・搬出**

展示の最終日には、館長より感謝状を贈り、合わせて「博物館同人」として登録した。

搬出は展示終了後、搬入に準じて出展者が行った。博物館はそれを補助してきた。

**(13) その他**

来館者の中には、自らコレクション等を行っている方があり、随時出展を勧めることがある。また、市町村の生涯学習や文化担当の方に出展者情報の提供を求め、それが出展につながった場合もあった。

**4 出展者による解説・講演・実演等の開催**

来館者に対して、出展者による展示解説、講演、実演、教室を以下のように開催してきた。

平成12年度からのおもな内容を紹介する。

**(1) 平成12年度**

## ○第4回通算42回目「映画の中の岐阜県」

・岐阜県にゆかりのある映画上映会

■上映映画 「ふるさと」神山征二郎監督作品

日時 平成12年8月15日(火)午後1時30分～3時30分

■上映映画 「さくら」神山征二郎監督作品

日時 平成12年8月16日(水)午後1時30分～3時30分

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

ギャラリーの展示に合わせ、岐阜県にゆかりのある映画の上映を行った。夏休みということもあり、家族連れが多く盛会であった。

## ○第6回通算44回目「パンフラワーの楽しみ」

・パンフラワー教室

第1回 平成12年11月19日(日)

第2回 平成12年11月21日(火)

第3回 平成12年11月26日(日)

時間 午前10時00分～午後3時00分

場所 岐阜県博物館本館講堂

講師 木村喜美恵さんと薔薇工房の皆さん

ギャラリーに展示されているパンフラワーの製作体験教室を行った。短時間でできる花とクリスマスツリーをかたどった壁掛けを題材として行い、多数の参加者があった。幼児からお年寄り、障害者の方まで述べ156名の幅広い参加があった。

## ○第7回通算45回目「楽しい世界の資料紹介展」

・講演 「アジアの民族舞踊・民族楽器演奏会」

日時 平成13年1月28日(火)午後1時30分～

場所 マイミュージアムギャラリー及び

マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

出演 ベトナム、ミャンマー、インドネシアへ赴任さ

れ、帰国された3組の先生とそのご家族、友人

内容 ①ベトナムの多様な弦楽器の紹介と演奏

②ビルマの豎琴の演奏

③インドネシアの民族舞踊とガムランの演奏

ギャラリーに展示中の先生とそのご家族の方々による、現地から日本へ持ち帰られた本物の珍しい楽器による生の演奏会と民族舞踊の披露を行った。ガムランの演奏はギャラリー会場からハイビジョン映像による中継をした。多彩な内容と珍しい演奏会ということで、120名を超える多数の参加者があった。

### (2) 平成13年度

○第3回通算49回目「絵と音のファンタジー」

・「歌の絵本コンサート」

日時 平成13年7月22日(日) 午後2時00分～3時00分

メゾソプラノ独唱 貞平純子さん(可児市)

伴奏 伊藤千枝子さん(可児市)

場所 マイ・ミュージアム3階 ハイビジョンホール

出展作品を実際のコンサート形式で紹介する、今までにない内容のある企画で、大変好評だった

○第5回通算51回目「地歌舞伎の魅力」

・「押し隈体験」

日時 平成13年10月28日(日) 午後1時30分～

顔師 原田 宙さん 場所 本館研修室

出展者で顔師の原田さんに、実際の地歌舞伎の現場で役者さんに施される歌舞伎特有の化粧をしていただくイベントを行い、3名の来館者に体験していただいた。

### (3) 平成14年度

○第4回通算58回目「折紙の魅力」

・「折り紙教室」

日時 平成14年8月25日(日)

午前の部：10時00分～12時00分 約30名

午後の部：1時00分～3時00分 約30名

場所 岐阜県博物館本館講堂

講師 岐阜折紙会のみなさん

恐竜、動物、昆虫、花など、夏休みの作品にもなる、ふだん折ったことのないような折り紙に、難易度に分けて実施した。岐阜折紙会のみなさんと共に、折り紙のおもしろさ、楽しさを体験していただいた。

○第5回通算59回目「創作人形の世界」

・「コンサート～人形たちへのアンソロジー～」

日時 平成14年11月30日(日)

開演午後2時00分(開場午後1時30分)

出演 貞平 純子さん(メゾ・ソプラノ)

賛助出演 新井 路子さん(ソプラノ)

ピアノ 伊藤千枝子さん

場所 マイ・ミュージアム3階ハイビジョンホール

曲目 「愛」、「青い小鳥」、「深秋」

「小さな木の実」、「アヴェ・マリア」

「グリーン・スリーブス」

「アメージング・グレース」

チェンバロ曲・・・他

出展者、永井さんのお知り合いで声楽家の貞平さんをお迎えし、今回の展示作品に寄せる曲を披露していただいた。各地でのコンサートで活躍中の貞平さんの美しい歌声による、すばらしいコンサートだった。

### (4) 平成15年度

○第2回通算64回目「野鳥を描いて」

・探鳥会

講師 広瀬尚孝さん、野鳥の会岐阜支部員10名

日時 平成15年5月11日(日) 午前9時00分～11時00分

場所 百年公園

出展者が所属する日本野鳥の会岐阜支部の会員の協力を得ての探鳥会だった。雨が心配されたが、なんとか10時30分ごろまではもち、降り出してからマイミュージアムギャラリーで広瀬さんによる展示解説を行った。短時間であったが、約20種類ほどの野鳥が観察でき、珍しいアマツバメやオオルリなどが観察でき、中身の濃い探鳥会となった。

○第3回通算65回目「美濃源氏土岐一族の世界」

・講演会

前半「美濃源氏土岐一族の世界

—最後的美濃守護頼芸まで」

後半「美濃源氏小里氏と小里城

—県史跡天守の発掘に向けて」

日時 平成15年7月12日(土) 午後1時00分～3時30分

講師 法政大学兼任講師 谷口 研語氏

場所 マイ・ミュージアム：ハイビジョンホール

美濃源氏フォーラムによる、土岐氏の歴史と文化の掘り起こし活動による、最新の研究成果を聞くことができた。特に後半の「小里城」に関しては、今後の発掘調査の期待がもてる興味深い内容だった。美濃源氏フォーラムの会員の協力もあって参加も予想以上で、美濃源氏フォーラムの趣旨にもあいまって盛会だった。

予定より早めに閉会したが、ギャラリー会場での展示説明会もできて、講演内容を確認される参加者でギャラリー会場も見学者でいっぱいになった。

### (5) 展示説明会

これまでの各展示において出展者自らが積極的に会場内で展示解説を行った。出展者は来館されるたびに展示内容の見所などの解説をし、来館者との交流も深まった。

来館者からも隠れた話が聞けて大変有意義だったという感想を聞いた。各出展者も来館者の質問や意見などを聞いて大変勉強になったり、視野も広まったり、同好者も増えたりと好評だった。また、ギャラリーでの展示をきっかけに、他所での展示に発展した出展者もあった。

## 5 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

マイミュージアムギャラリー企画運営委員会は、マイミュージアムギャラリーの企画運営に関して以下の3点の協議を行うために設置された委員会である。

- (1) マイミュージアムギャラリーの運営の基本計画
- (2) マイミュージアムギャラリーの展示計画
- (3) その他、マイミュージアムギャラリーの運営に関すること

詳細はこれまでの岐阜県博物館報を参照されたい。

### ○委員の構成（平成15年度）

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が就任された

	氏名	役職
委員	糸魚川 淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 仲雄	会社会長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域女性団体協議会長
〃	木股 米夫	岐阜県議会教育警察委員長
〃	佐藤 哲雄	岐阜県公民館連合会長
〃	高橋 宏之	前岐阜県博物館長
〃	塚本 保夫	岐阜県市長会代表 (市長会長：土岐市長)
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	松田 淳一	関市教育委員会教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会副会長
〃	水野 隆夫	岐阜県町村会長 (土岐郡笠原町長)
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長

## 6 マイミュージアムギャラリーの展示の原則

これまでの多様な展示状況から、展示内容や広報などで現状での判断に協議が必要な場合があったことから、今後予想される事態も踏まえて、平成15年度にマイミュージアムギャラリーの運営要綱と運営要領の改正を行った。<sup>\*2</sup>

そのおもな改正点を含め、マイミュージアムギャラリーの展示の原則をあげる。

- (1) 展示は無料公開となっている。
- (2) 出展者が自ら出展をするという立場に立ってもらう。

博物館は公共の施設として、県民の生涯学習のためにその展示や発表の場と機会を提供するという立場をとっている。従って出展にあたって県民の出展料等の費用負担はなく、博物館側も展示や教室、講演等に対する謝礼は負担していない。但し、ポスターやチラシ、展示リーフレット、搬出入にあたってのやむを得ぬ場合の経費は博物館が負担し、一般的な広報は博物館が行っている。

- (3) 売買行為等の営利に利用することはできない。
- (4) 図録の作成は博物館では行わない。
- (5) 出展者の生涯学習の成果として出展者の責任で展示を行うため真贋は問わず、展示保険はかけない。
- (6) 展示にあたっては、原則として他団体からの後援や認定等は受けない。
- (7) 展示品の保管については、原則として出展者の責任とする。

## 7 おわりに

画家や陶芸家が自らの作品を、販売を兼ねて公開する私設のギャラリーを市中で見かける。コレクションを公開するギャラリーを見かけることはないが、博物館の企画展で個人蔵として公開されている場合が多い。多くのコレクターは自宅で保管するだけで終わっており、趣味の作品づくりを楽しんでいる人も、その展示は自宅や地域の文化祭などでの展示に限られていると思われる。

これまでマイミュージアムギャラリーに展示された資料や作品とその前で生き生きと語る出展者の話から、どの出展者にとっても、それらの資料や作品がかけがえのない宝物となっていた。また、その資料や作品づくりを通して、大変熱心に学習され、研究されていることを実感した。実際、展示されたコレクションの中には見応えのあるものが多く、出展者の話からは学ぶべき事が多い。まさに、コレクションや作品づくりを通じた生涯学習の成果である。中には、マイミュージアムギャラリーの展示を一つのきっかけとして、私設のミュージアムや資料館を設けられた出展者もあった。

これからの高齢化社会の中で、また多様な価値観が混在する現代生活の中で、生涯学習は生き甲斐のある生活を営む一つのキーワードであるように思う。マイミュージアムギャラリーがそんな時代の生涯学習の一つの拠点として、出展者も来館者もより広く深い学習に結びつく交流ができる場となることを願うものである。

## 注

\* 1 同一出展者・団体で複数回の出展があるが、ここでは重複して数えている。

\* 2 マイミュージアムギャラリー運営要綱

平成 7 年 4 月 1 日制定

平成 15 年 6 月 1 日改正

(目的)

第 1 条 この要綱は、マイミュージアムギャラリーを、県民の収集、所蔵品の公開展示及び生涯学習の場とするとともに、県民相互が多様な文化情報の発信・授受を行う等多目的機能の活用を図るため、必要な事項を定める。

(事業の実施等)

第 2 条 事業は、博物館が主催する事業と一般の県民等が主催する事業とし、その内容は、次の各号のとおりとする。

- 一 県民が自ら収集し、所蔵する資料の公開展示
- 二 生涯学習の成果の発表及び学習（実習、研修等）
- 三 文化的事業の開催（講演会、実演等）

2 博物館が主催する事業の細部については、別に定める。

3 一般の県民等が主催する事業については、岐阜県博物館管理規則第 4 条第 2 項の適用を受ける。

(主催者等)

第 3 条 事業を主催するものは、岐阜県に在住、在勤又はゆかりのある個人及び団体（法人等）とする。

(経費の負担)

第 4 条 博物館が主催する事業に要する経費は博物館が負担し、一般の県民等が主催する事業に要する経費は、当該事業の主催者の負担とする。

附 則

この要綱は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 6 月 1 日から施行する。

#### マイミュージアムギャラリー運営要綱

平成 7 年 4 月 1 日制定

平成 15 年 6 月 1 日改正

(目的)

第 1 条 この要綱は、マイミュージアムギャラリー運営要綱第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、県民が自ら収集し、所蔵する資料等の公開展示に関する事務を、適正かつ円滑に行うため、必要な事項を定める。

(展示内容)

第 2 条 マイミュージアムギャラリーに展示する県民の収集・所蔵品（以下「展示品」という。）の内容は次の各号のとおりとする。

- 一 貴重な文化財（仏像、書画、武具、美術、工芸品等）
- 二 特色ある収集品（民具、玩具、動植物標本、書画、切手、民族衣装等）
- 三 学習の成果作品（手工芸品、美術、文学、科学研究調査等）
- 四 公立私立博物館及び類似施設等の収蔵品の公開（移動展）
- 五 公的機関の啓発資料、調査研究資料の展示

(展示の応募)

第 3 条 展示を希望するものについては、「マイミュージアムギャラリー出展申込票」（別紙様式 1）の提出を受けるものとする。ただし、諸般の事情によりこの手続きを省略することができる。

2 展示の募集は、定時及び必要に応じ随時募集する。

(展示の条件)

第 4 条 展示にあたっての基本事項は次の各号のとおりとす

る。

一 展示にあたっては、出展者と博物館は事前に協議をする。

二 展示品には、原則として収集・所蔵者名を明記する。

三 展示品の名称・解説文等は出展者の責任とする。

四 売買行為等営利に利用することはできない。

五 展示品の搬入搬出にかかる特に必要な経費は、博物館が負担する。

六 展示品の室内案内は、原則として出展者が行う。

七 一般的広報は、博物館が行う。

八 図録の作成は博物館では行わない。

九 展示にあたっては、原則として他団体からの後援や認定等は受けない。

十 展示品の保管については、原則として出展者の責任とする。

(展示の決定等)

第 5 条 展示の決定及び運営については、マイミュージアムギャラリー企画運営委員会（以下「委員会」という。）で協議する。

(展示計画等)

第 6 条 展示期間は、準備、撤収を含めて 8 週間以内を原則とする。

2 搬入搬出及び展示にかかる業務は博物館が行う。

3 美術専用車の使用及び損害保険の適用については、出展者の意向等を勘案し、委員会で協議する。この場合、美術専用車の対象となる展示品の基準は、博物館が別途行っている特別展の取扱に準ずるものとする。

附 則

この要綱は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 6 月 1 日から施行する。

\* 3 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会要綱

平成 6 年 4 月 1 日制定

平成 15 年 6 月 1 日改正

(設置)

第 1 条 主として県民が収集・所蔵する資料を、県民に公開するマイミュージアムギャラリーの企画運営に関する協議を行うため、岐阜県博物館マイミュージアムギャラリー企画運営委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(委員会等)

第 2 条 委員会は、委員 12 人以内で組織する。

2 委員は、岐阜県博物館長が委嘱する。

3 委員会に会長及び副会長を置き、委員のうちから選出する。

4 委員の任期は 2 年とする。委員は、再任を妨げない。

(協議事項)

第 3 条 委員は、岐阜県博物館長の求めに応じて、次の事項を協議する。

一 マイミュージアムギャラリー運営の基本計画

二 マイミュージアムギャラリーの展示計画

三 その他、マイミュージアムギャラリーの運営に関すること

(会議)

第 4 条 委員会は、岐阜県博物館長が招集する。

(庶務)

第 5 条 委員会の庶務は、岐阜県博物館において処理する。

附 則

この要綱は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 15 年 6 月 1 日から施行する。